消防庁舎及び訓練施設等に関する特別委員会会議録

第一日（九月二十六日）

△案件

消防庁舎及び訓練施設等に関するについて
新消防指令センターの整備について

新消防庁舎建設準備室主任 高橋 一三三

指揮統制課長 小久保 和徳

指揮統制課副課長 采 澤 勝義

指揮統制課主査 江 田 邦 彰

△会場 川越地区消防局 三階講堂

△出席委員

委員長	柿田 有一 議員	副委員長	矢内 秀憲 議員
委員	小 峯 松 治 議員	委員	牛 窪 喜 史 議員
委員	村 山 博 紀 議員	委員	栗 原 瑞 治 議員
委員	吉 敷 賢 一 郎 議員	委員	中 村 文 明 議員
委員	小 高 浩 行 議員	委員	小 林 薫 議員
委員	片 野 広 隆 議員		

△委員会に出席した職員

書記長 黒澤 博行

書記 田 中 尚

” 原 田 剛

” 青 柳 慎次郎

○開 会 午後零時五十一分

○議 題

消防庁舎及び訓練施設等に関するについて

新消防指令センターの整備について

柿田有一委員長 消防庁舎及び訓練施設等に関する特別委員会は、定足数に達して

おりますので、これより開会いたします。

直ちに会議を開きます。

傍聴人はなしとありますが、もしあった場合は、傍聴に入ってい

ただいてよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者がいる)

柿田有一委員長 では、そのようにさせていただきます。

審査に入ります前に前回の会議の内容を確認いたします。

三月二十五日の会議では、消防庁舎及び訓練施設等に関するについて、第二期盛土工事及び第一期擁壁工事について、庁舎等建築工事の工程等についてを資料を基に説明を受け、続いて、新消防指令センター

△説明のための出席者

	消防局長	浅見 篤
	次 長	武 笠 浩
”		大 谷 清 秋
新消防庁舎建設準備室長	山 本 雄 一	
新消防庁舎建設準備室副室長	中 村 俊 規	

△組合議会副議長

副議長 爲 水 順 二 議員

△組合議会議長

議 長 小ノ澤 哲 也 議員

一の整備について報告を受けました。次に、今後の進め方について協議し、散会いたしました。

以上が前回の特別委員会の概要であります。

続いて、本日の特別委員会であります。

お手元に配布しております特別委員会次第を御覧ください。

本日は、消防庁舎及び訓練施設等に関することについては、建設工事の進捗状況について、建設スケジュールについてをそれぞれ単独議題とし、理事者より説明を受け、質疑を行います。

次に、新消防指令センターの整備について説明を受け、質疑を行います。

続いて、今後の進め方について御協議願ひ、特別委員会を閉じさせていただきます。

以上が本日の予定であります。

これより付議事件であります消防庁舎及び訓練施設等に関することについて審査に入ります。

初めに、建設工事の進捗状況についてを議題といたします。

説明願ひます。

新消防庁舎建設準備室長 それでは、議題(1)建設工事の進捗状況について御説明申し上げます。

資料等がございますので、大変恐縮ではございますが、着座にて御説明させていただきます。

それでは、お手元の資料を基に御説明いたします。

まず、資料一、建設工事の進捗状況についての内容でございますが、前回、令和六年三月の特別委員会以降、本年四月から九月上旬までの工事進捗状況を整理いたしました。

概要でございますが、資料一を御覧ください。

一から三ページの航空写真は、本年四月以降本格的に工事を開始したことで、敷地の状況も刻々と変化してまいりましたので、毎月末の敷地状況を記録したものでございます。

次に、四から十一ページが、庁舎棟工事等の主要工程を記録したものでございます。

補足でございますが、本年六月の第三回臨時会の際の全員協議会におきまして、写真の四から七ページまでの工程につきましては、一度御説明をしておりますが、特別委員会として改めて御報告させていただきますのでございます。

それでは、最初に二ページ、上段の写真を御覧ください。

本年四月下旬で、山留工事を施工している敷地の状況でございます。

次に、下段の写真でございますが、本年五月下旬で庁舎棟の杭工事が進行している敷地の状況でございます。

二ページに移りまして、上段の写真は、本年六月下旬で車庫棟部分の杭工事と、杭工事が完了した庁舎棟の掘削工事を行っている敷地の状況でございます。次に、下段の写真でございますが、本年七月下旬で庁舎棟の掘削工事が完了した敷地の状況でございます。

三ページに移りまして、上段の写真は、本年八月下旬で掘削工事の完了した庁舎棟の基礎に鉄筋を配筋している状況と緊急車両車庫棟の掘削工事を行った敷地の状況でございます。

続いて、四ページに移りまして、庁舎棟工事の詳細について御説明いたします。

初めに、上段の写真でございますが、本年四月下旬で庁舎棟東側に工事車両用の通路を確保するため、山留工事を行った際の施工状況でございます。次に、下段の写真は、本年五月上旬に、基礎杭を打設するに当たり、支持層までの掘削を行う状況でございます。

続いて、五ページに移りまして、本年五月上旬の状況でございます。ここで、基礎杭の概要について御説明いたします。

新庁舎の支持層でございますが、完成した基礎地盤面から深さ約三十二メートルでございます。使用する基礎杭は三本構成で、下杭は高支持力のコンクリート製の節杭で長さは十メートル、中杭がコンクリート製のストレート杭で長さは十メートル、上杭は横曲げに高い耐力を持つコンクリート製のストレート杭に鉄板を巻いた鋼管杭で長さは七メートルで、三本合計で二十七メートルの仕様になります。

なお、庁舎棟の杭総数は五十三本でございます。それでは、五ページ上段の写真を御覧ください。

下杭の打設状況でございます。基礎杭の打設は、掘削を行った箇所にてセメントミルクを流し込み、後に、クレーンで杭を建て込む手順でございます。次に、下段の写真は、中杭の打設に当たり、下杭との連結状況でございます。連結作業は、杭の連結部分にプレートを巻き、その上からボルトで固定する仕様でございます。

続いて、六ページ目に移りまして、上段の写真は、本年五月上旬で上杭の打設に当たり、中杭との連結状況でございます。次に、下段の写真は、本年六月下旬で杭工事が完了した箇所から基礎の掘削工事に着工した状況でございます。

続いて、七ページに移りまして、上段の写真を御覧ください。

基礎掘削した箇所から、この後、杭配筋を行うために杭頭までを掘り下げた状況でございます。次に、下段の写真は、基礎掘削が完了した箇所にて、基礎工事の施工性を高めるため、捨てコンを打設している状況でございます。

八ページを御覧ください。

上段の写真は、本年七月中旬で基礎杭と基礎を連結するための配筋工

事、着工時の状況でございます。次に、下段の写真は、本年八月上旬で基礎杭から立ち上げた配筋の検査を行っている状況でございます。

九ページを御覧ください。

上段の写真で、右側が基礎杭部分のコンクリート打設が完了した状況でございます。次に、下段の写真は、本年八月下旬で庁舎の基礎となるマットスラブ配筋の状況でございます。具体的には、庁舎の基礎になる免震ピットの床配筋の状況でございます。

続いて、十ページに移りまして、上段の写真でございますが、マットスラブの配筋検査を行っている状況でございます。次に、下段の写真は、本年九月上旬でマットスラブ配筋検査が終わった箇所にてコンクリートを打設した状況でございます。

以上が、本年九月上旬までの庁舎棟工事の進捗状況でございます。

続いて、十一ページを御覧ください。

緊急車両車庫工事の詳細でございます。

初めに、上段の写真でございますが、本年八月上旬で基礎部分の杭工事後に掘削工事を行った状況でございます。次に、下段の写真でございますが、本年九月上旬で基礎工事の作業性を向上するため、捨てコンを打設した状況でございます。

最後になりますが、緊急車両車庫の基礎杭でございますが、支持層は基礎地盤面から約十四メートルの深さで、使用する杭は写真にはございませんが、庁舎棟と同様に下杭が高支持力のコンクリート製の節杭で九メートル、上杭がコンクリート製のストレート杭で五メートル、合計十四メートルの二本構成でございます。緊急車両車庫の杭総数は二十四本になります。

以上、大変雑駁ではございますが、議題(1)建設工事の進捗状況についての御説明とさせていただきます。

柿田有一委員長 説明は終わりました。

委員の皆様から御質疑、御意見等がございましたら御発言をお願いいたします。片野委員。

片野広隆委員 進めていただいている状況は、説明いただいて分かりました。

進めている中で、想定外の出来事というのは何かありましたか。特段なく順調に進んでいますか。

新消防庁舎建設準備室長 先日、短時間の大雨等々ございましたが、工事のほうは遅れなく順調に進んでおるところでございます。

柿田有一委員長 他に御質疑ございますか。よろしいですか。一質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

以上で建設工事の進捗状況についてを終了いたします。

次に、建設スケジュールについてを議題といたします。

説明願います。

新消防庁舎建設準備室長 議題(2)建設スケジュールについて御説明いたします。

引き続き、着座のまま御説明させていただきます。

令和六年三月の本特別委員会にお示しいたしました工程から大きな変更箇所はございませんが、各工程の期間について若干見直し等を行いましたので、その変更箇所について御説明いたします。

資料二を御覧ください。

最初に、造成工事の見直し箇所でございます。雨水貯留槽設置工事につきましては、本年六月の第三回臨時会を経て本契約となりましたので、受注者からの施工計画により令和七年四月からの埋め戻しを本体工事が終わる令和七年二月以降、順次行う計画として見直しを行いました。

次に、第一期外周道路整備工事（水路）・県道改修でございますが、令和六年三月の予定では令和六年九月から令和七年五月末までの工期で計画しておりましたが、令和七年三月中旬までの単年度工事で再度調整

いたしました。

次に、第二期外周道路整備工事（市道）でございますが、令和六年三月の予定では、令和七年五月から着工を計画しておりましたが、周辺部の田植え時期と重なりますので、令和七年七月頃からの着工とし、あわせて、東側外周道路の着手時期を令和七年七月から水田の水が不用になる令和七年九月へ調整いたしました。

続きまして、建築工事でございます。

最初に、庁舎棟でございます。基礎工事でございますが、令和六年三月の予定では、本年七月から十二月中旬頃までを計画し、引き続き上部躯体工事を見込んでおりましたが、順調に基礎工事が進捗したことから、本年七月から十月末までに完了し、その後、上部躯体工事を見込む計画に調整いたしました。

次に、緊急車両車庫でございますが、令和六年三月の予定では令和七年六月から上部躯体工事、一月空けて仕上げ工事を計画しておりましたが、令和七年四月から令和七年九月末まで上部躯体工事を行い、引き続き仕上げ工事を見込む計画に調整いたしました。

次に、訓練塔新築工事でございますが、令和六年三月の予定では、入札を本年十月に予定しておりましたが、本年十一月へ変更いたしました。また、訓練塔工事と雨水貯留槽工事の工事範囲の一部が重なることから、令和七年三月に予定しておりました杭工事を令和七年四月からに変更し、基礎、躯体工事をそれぞれ一か月、順次スライドいたしました。

工程の見直し箇所については、以上でございます。

次に、本スケジュールに係る御報告等について申し上げます。

最初に、本スケジュールの庁舎棟工事、本年九月から十月に予定しております免震支承工事でございますが、順調に基礎工事が進んでおりまして、予定どおり九月下旬から十月月上旬に行われる予定でございます。

免震装置は、新庁舎の重要装置となるものでございますので、委員の皆様には、免震装置の施工状況と併せて工事現場の施工状況について御確認いただきたく、現地視察の実施についてお諮りしたいと考えております。

なお、視察は免震装置の設置が進む来月十月二日の定例会本会議の後を考えております。いかがでしょうか。

柿田有一委員長 今、事務局から現地視察についての話がありました。皆さん、いかがでしょうか。

(「はい」と言う者がいる)

柿田有一委員長 よろしいですか。日程も限定された急な話ですけれども、当日、本会議の後に、先ほどちよつと議長からも話がありました消防局でポールの視察があるということのようでございますが、その後に、御都合のつく委員の皆さんで現地視察を行うということでいかがでしょうか。

(「はい」と言う者がいる)

柿田有一委員長 日にも近いことから、この場で決めさせてもらいますが、よろしいですか。

(「はい」と言う者がいる)

柿田有一委員長 では、そのようにさせていただきます。十月二日、本会議後に現地視察を行うことといたします。

事務局、現地までの移動はどういうふうに行う予定でしょうか。

新消防庁舎建設準備室長 現地の駐車場が狭いことから、消防局の車両により現消防局から移動することとし、また、服装は現地で保安帽、手袋を御用意いたします。

柿田有一委員長 では、そのようにお願いいたします。

新消防庁舎建設準備室長 承知いたしました。

次に、十月二日開会予定の組合議会定例会に訓練塔新築工事に係る補

正予算案を上程させていただきます。訓練塔新築工事につきましては、令和四年度の実施設計における積算成果に基づき、令和六年度当初予算に計上しておりますが、このたび発注に当たり単価見直しを行ったところ、事業費で当初予算八億一千七百万円から概算で八億七千六十万円、五千三百六十万円の不足となったものでございます。不足を生じた要因でございますが、基礎杭の高騰が主なものでございます。

次に、財源でございますが、地方債を充当する計画でございますので、一般財源ベースでは約四百七十万円の不足になります。このうち令和六年度分の事業費に対する一般財源は百三十万円を計画しているところでございます。

なお、必要になる一般財源につきましては、消防組合の繰越金の充当を計画しております。

続きまして、第一期外周道路整備工事(水路)・県道改修でございますが、九月十三日金曜日に、五千九百八万七千六百円が川越市大字笠幡一八一番地一二、株式会社田村工業所と契約を締結いたしましたので御報告いたします。

三千万円以上の工事につきましては、川越市の例によりますと議会報告案件として取り扱っておりますが、当該新庁舎建設事業につきましては、本特別委員会の調査対象案件でございますので、この場をお借りいたしまして御報告させていただきます。

以上が議題(2)建設スケジュールについての御説明となります。

以上でございます。

柿田有一委員長 説明は終わりました。

委員の皆様から御質疑、御意見等ございましたら発言をお願いいたします。よろしいですか。御質疑がないようですので、以上で質疑を終了いたします。

以上で建設スケジュールについてを終了いたします。
理事者、席の入替えをお願いします。

次に、新消防指令センターの整備についてを議題といたします。
工事工程概要について説明を願います。

指揮統制課長 三、消防指令センターの整備について、(1)工事工程概要について御説明申し上げます。

資料等ございますので、着座にて失礼をいたします。

それでは、新消防指令センター整備工事について御報告申し上げます。
お手元の資料三、新消防指令センター整備工事工程概要を御覧ください。
い。

表の左側、業務区分上段より順に御説明申し上げます。

初めに、令和六年度に入りましての経過でございますが、令和六年五月二十四日に実施した新消防指令センター整備工事、一般競争入札において、三峰無線株式会社北関東支店が落札しております。

また、令和六年六月二十八日に開会されました令和六年第三回臨時会において、新消防指令センター整備工事請負契約が議決され、同日、三峰無線株式会社北関東支店と本契約を締結しております。

なお、指令システム等メーカーにつきましては、冲電気工業株式会社を選定いたしました。選定理由といたしましては、三峰無線株式会社北関東支店は冲電気工業株式会社の特約店で、同社の導入実績が多数あり、円滑なシステム構築及び整備後の安定稼働が見込まれることから冲電気工業株式会社製を選定したものでございます。

改めまして、工事工程概要を御覧ください。

仕様確認・機器承諾を令和六年七月から十月までに行います。昨年度実施いたしました新消防指令センター実施設計において策定した仕様書に基づき、発注者と受注者の認識にそごがないか仕様確認を行い、機器

承諾をいたします。

次に、新消防指令センター機器製造を令和六年十一月中旬から令和七年九月中旬に行い、その後、据付工事・調整を令和七年十月から令和八年二月中旬に行います。主に、指令業務に必要な自動出動指定装置、統合型位置情報通知装置、地図等検査装置、支援情報表示装置、指令制御装置等の製造を行い、新消防庁舎の新消防指令センター内に機器や設備を設置・設定し、調整を行います。

次に、新消防指令センター機器と連動する署所用機器製造を令和六年十一月中旬から令和七年三月中旬に行い、その後、据付工事・調整を令和七年五月から九月までに行います。主に、署所端末装置、車両運用端末装置、車載型無線機等の製造を行い、各消防署、各消防分署に機器や設備を設置し、調整を行います。

次に、一一九番通報受理回線切替え事前試験を令和八年一月二十日に行います。実際に回線切替えを行う新消防指令センター機器と現在の消防指令センターに収容されている一一九番通報受理回線などを切り替える手順等を確認し、N T T日本の電話交換設備を回線接続する事前試験となります。

次に、一一九番通報受理回線切替えを令和八年二月十八日に行います。一一九番通報受理回線切替えは、一回線ごとに切替えを予定しております。切替え作業中は、新消防指令センターと現消防指令センターを同時に運用することで、一一九番通報受報体制を維持いたします。

次に、運用調整を令和八年二月十八日から三月にかけて行い、新消防指令システムの安定稼働の監視及び確認作業を行い、令和八年三月中旬に完成検査を受けることを予定しております。

なお、令和六年九月二十五日現在、工程概要どおり順調に進んでおりますことを御報告申し上げます。

以上で新消防指令センターの整備について、(1) 工事工程概要についての説明とさせていただきます。

以上でございます。

柿田有一委員長 説明は終わりました。

委員の皆様から御質疑、御意見等がございましたら御発言をお願いいたします。小高委員。

小高浩行委員 署所用の機器の製造と取付工事というのがあるんですけども、これ新庁舎のほうは分かるんですけども、既存の分署、そういうところに据え付ける機器については、現行の機器があつて、新たなものを据え付ける。その辺の関係というのは、どういう据付け変更というか工程なのでしょうか。

指揮統制課長 既存の機器の関係は、全て更新という形で新しい設備に合わせた機器の更新という形になります。現在は当然、機器はついているのですが、新しい機械に合ったものに更新するということです。

小高浩行委員 今の機器があつて、新しいものに更新するとき、状況がよく分からないんですが、その機器というのは建物に附属して設置されているのではなくて、通常の無線機みたいに移動可能な形で、要は併存が可能なのか。それとも、切り替えたときに新しい機器に従前の通信が入るような設定をして、そこで運用をしていて、新しい庁舎の通信設備ができたときに、その機器に切り替えるとかそういう段取りになるんでしょうか。

指揮統制課長 既存の機器があつて、新しい機器に合った機器を併設で設置いたします。そして、最終的に切り替えるという形になります。

柿田有一委員長 他に。片野委員。

片野広隆委員 先ほど御説明の中で、契約の相手方が三峰さんで仕様が沖電気さんというお話がありましたけれども、沖電気と三峰さん、消防指令の談合で全国的に有名というか、各自治体と裁判されて和解されてというのが

ありますけれども、そこら辺は消防局としては理解した上で入札に参加させて契約しているということでしょうか。

指揮統制課長 今回の入札に関して、事前にその情報等を調べさせていただきますが、今回の入札に該当しないということで入札になっております。

片野広隆委員 指名停止になっているとかではないのは私も理解しているんですけども、県内でも蕨市さんですか、隣の比企広域でも消防指令談合で自治体と裁判になって和解しているんですね。だから、そういう事実をきちんと理解された上で参加させたのかどうかという事実関係を把握されていきましたか。

指揮統制課長 内容的には把握をしておりました。ただ、入札には問題ないということと判断をいただきましたので、そのような結果ということになりました。

片野広隆委員 先ほど申し上げましたけれども、指名停止になっているわけではないので、参加されることについてどうこう申し上げるつもりはありませんけれども、先ほど申し上げたとおり、蕨市、比企、県内だと越谷市とも裁判を起こして和解資金を払っている会社です。しかも、沖電気も直接入札しないで、三峰さんを使って間接販売で談合していた会社です。それから、そこら辺もよく考えた上で事業を進めていただければと思います。

以上です。

柿田有一委員長 他に御質疑ございますか。

今、片野委員から指摘がありました。局長、一言、見解はありますか。

消防局長 談合に関しましては、沖電気だけではなく、他メーカーにおいても時期そういった話がありました。すでに和解しているというふうにお聞きしております。沖電気に関しても、既に和解されているところ

と、今回の入札に関しては特に問題はない、機器的にも問題ないということでありますので、現、私どもも今、沖電気のメーカーを使用しております。そういう関係で、入札に関して、選定の中で沖電気ということでの選定をされましたので、機器的に問題はないというふうな判断をさせていただきましたので、このような結果になっております。

以上でございます。

柿田有一委員長 ありがとうございます。

指摘もありましたので、きちんと進めてください。片野委員。

片野広隆委員 問題ないのは分かりました。ただ、今ちよつと発言の中で気になったんですけれども、現状使っているのが沖電気の指令を使われているということ、沖電気ありきじゃないですね。自分たちが使いやすいからという理由で。

消防局長 そのようなことはございません。使いやすいからということではなくて、当然ほかのメーカー等とも比較した上で、私どもの求める機器が納品されるという結果となっております。

柿田有一委員長 よろしいですか。指摘もありましたので、注意しながら進めていただければありがたいなと思いますので、よろしく願います。他に御質疑ございますか。―質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

以上で新消防指令センターの整備についてを終了いたします。

○今後の進め方について

柿田有一委員長 次に、今後の進め方についてを議題といたします。

(休憩)

(再開)

柿田有一委員長 お諮りいたします。本特別委員会の付議事件であります消防庁舎

及び訓練施設等に関することについては、休憩中に御協議いただきましたとおり、本組合における重要な課題であり、引き続き庁舎等新築工事業や雨水貯留槽設置工事が行われ、今後訓練塔新築工事等も予定されております。よって、これらの工事について引き続き調査したいので、地方自治法第百九条第八項の規定に基づく継続審査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者がいる)

柿田有一委員長 御異議がありませんので、本件については、地方自治法第百九条第八項の規定に基づく継続審査とすることに決定いたしました。

次回の日程については、私のほうで調整させていただきますので、御協力のほどお願いいたします。

以上で今後の進め方についてを終了いたします。

○その他について

柿田有一委員長 次に、その他委員の皆様からは何かございますか。

(「なし」と言う者がいる)

柿田有一委員長 事務局からは何かありますか。

(「特にございません」と言う者がいる)

柿田有一委員長 以上でその他を終了いたします。

委員の皆様申し上げます。

委員長報告につきましては、正副委員長に一任させていただければと存じます。

委員会会議録の調整につきましては、作成でき次第御連絡いたしますので、よろしく願います。

これにて閉会いたします。

○閉
会
午後一時二十六分